

かみすげた

令和元年 10月31日
横浜市立上菅田小学校
学校だより 11月号

上菅田小学校 学校教育目標
心かがやく上菅田の子ども

- か 上菅田の「まち」を知り、地域とともに活動しよう (公)
- み みんなも自分も大切に、社会に貢献しよう (徳)
- す すてきな日本を学び、世界で活躍できる人になろう (開)
- げ 元気な心と健康な体を作ろう (体)
- た 楽しく学び、のびのびと表現しよう (知)



みんなで
東京2020
オリンピック・
パラリンピックを
応援しよう。



「善」の心を育む心の教育を！

学校は教育活動を通して地域や社会に貢献

上菅田小学校として参加する最後の体育大会が10月24日に実施されました。子供たちは、クラス毎に取り組んだ長縄跳びや「タイム トライアル セブン (7秒間走)」の自己記録更新に挑戦していました。「レッツダンス ウィズ ヨコハマ」ではリズムよく踊り、指先まで意識して伸び伸びと動いていました。私は役員として学校受付や来賓案内をしていましたので、上菅田小学校が出場する時には児童席に行って演技を見たり応援したりしていました。6年生はマナーよく見学や観戦をし、他区の6年生の演技や競技に興味深く観戦し楽しんでいました。

翌日10月25日の中休み、保土ヶ谷区内の小学校の校長先生からお電話をいただきました。その内容は「100mと4×100mの競技で上菅田小学校の子供たちが笹山小学校の選手たちを全力で応援している姿が自然とても素敵だったので是非とも上菅田小学校の校長に伝えたい。」とのことでした。大変に嬉しくお知らせいただいた事に感謝の気持ちでいっぱいになりました。と同時に昨年からの統合へ向けての地道な取組が身を結んでいる事に確信を持つことができました。

昨年度の6年生(現中学1年生)は国語の「ようこそ私たちの町へ」という単元で上菅田小学校の紹介をするパンフレット作りをし、笹山小学校の6年生に上菅田小学校の良さを伝えていく活動をしました。笹山小学校からも同じような取組をしてもらい、双方向の交流を促進する機運が生まれました。そして今年度からは、それぞれの学年同士で前期から交流を計画的に行っています。その一環として、6年生は体育大会での演技「レッツダンス ウィズ ヨコハマ」と長縄の練習を合同で行いました。最初はお互いに緊張していたようですが、繰り返し練習する中で次第に打ち解け最後には当日の健闘を励まし合うようになりました。こういった交流の結果、当日にお互いのチームを応援したくなる気持ちが自然と起こり、声援を送り合う姿となって表れたのは子供たちにとって当然のことだったのだと思います。体育大会終了後、それぞれの学校に帰る前に、笹山小学校の6年生からぜひお礼を伝えたいと言うことで、お互いに「ありがとうございました」と声を掛け合い家路に着きました。大変に爽やかな1日となりました。統合は6年生にとっては卒業後の事なのですが、それぞれの学校の伝統を後輩たちに引き継いでもらいたいという思いが心温まる交流に繋がっているのです。

自分たちが当然のことと考えていることが、実は大変に価値があり人を感動させることはよくあることです。たとえば、災害時のボランティア活動。台風15号、19号そして先日の豪雨による河川の氾濫による被災地へのボランティアの人々の活動は、被害を受けた方々にとってはどれほど勇気をもらったことでしょうか。困っている方を助けるのは上から目線ではなく「お互いさま」という相互扶助の精神です。また、スポーツにおいては、9月20日に開幕し、11月2日に横浜で決勝戦が行われるラグビーワールドカップの全試合において参加国の国歌を歌って「おもてなし」をするという取組がありました。これは世界規模のスポーツの大会で例がなかったといわれています。試合後、各国の選手が日本人の礼にならってファンにお辞儀をして感謝を伝えるという心の交流が起きました。この「お互いさま」「おもてなし」という行動の心の中には、人のため社会のために役に立っていかうとする「善」の心、敬意をもって相手を思いやる「善」の心が育まれているということだだと思います。

日々の教育活動の中で「善」の心を育成し続ける取組はささやかではありますが、一人ひとりの子どもが成長しクラスや学校がよくなり、思いやりあふれる地域や社会になっていくという道筋を信じていきたいと思ひます。すなわち、子供たちの心の中に「善」という価値が育まれていくような教育を通して、地域社会に貢献していくことが学校教育の使命の道であると思ひます。日々の教育活動にご支援ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

長縄チャレンジ

体力向上の取組の一環として、10月と11月に全校で長縄跳びにチャレンジしています。体育委員会の児童が中心となり企画・運営をし、中休みの時間に各学級精一杯取り組んでいます。一人ひとりがより多くの回数を跳ぶことができるように、各学級2チームに分かれて跳ぶなどの工夫をして行っています。学級で目標回数を決めながら跳ぶ練習をしたり、最高記録更新を目指して長縄大会を開催したりしています。毎年、長縄チャレンジ後も体育の学習時間や、休み時間に継続的に取り組んでいる様子が見られるようになっています。



長縄を跳ぶタイミングを、友達同士で教え合う様子も多く見られます。



クラスの目標を決めて最高記録めざして、みんなでがんばるぞー！！



長縄大会では、体育委員会の児童が回数を数えて記録を合算します。

横浜市立小学校体育大会

10月24日(木)、第69回横浜市立小学校体育大会が、今年度は三ツ沢公園陸上競技場で行われ、横浜市内5区の6年生が集いました。

演技『Let's Dance With YOKOHAMA』では、3000人以上の子どもたちが美しく踊る姿に歓声が沸いていました。また、『めざせクラスの最高記録 長縄跳び』では、みんなと声をかけ合って自己ベストを目指して一生懸命に跳ぶ姿が輝いていました。

代表児童による「100m走」「4×100mリレー」代表以外の児童による「タイムトライアル7(7秒間走)」も全力で取り組みました。一緒に練習に取り組んだ笹山小学校への応援も行い、スタンドは応援の声で熱く盛り上がりました。

